

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



野外イベントでのサステナブルな取り組み

近年、環境問題への関心がますます高まる中、アフターコロナで再燃する野外イベントでも環境保全活動の取り組みが強化されています。本号ではサステナブルを実践する野外音楽フェスに着目し、その取り組み事例と実態などをお届けします。

野外音楽フェスと環境問題

野外音楽フェスは音楽だけでなく、野外特有の雰囲気や地域文化を楽しめ、多くの人々と一体感を共有できる場として、非常に人気です。一方で、自然の中へのゴミの置き去りや、二酸化炭素排出量の増加などが問題視されており、主催者側にとっては、環境への配慮をより一層重視したイベント運営が大切なテーマの一つとなっています。

サステナブルな社会を目指す『ap bank fes』

『ap bank fes』は自然エネルギーの普及や環境保全活動を支援する融資や復興支援など、幅広いプロジェクトを展開している『ap bank』が主催する野外音楽フェスで、音楽を通じてサステナビリティの理念を広める場を提供しています。この『ap bank fes』で取り組まれている環境保全活動の事例を紹介します。

1. 環境配慮型の素材を使用したオフィシャルグッズ
Tシャツやタオルには農薬や化学肥料の使用を抑えたオーガニックコットンを、エコバッグやウィンドブレーカーには廃棄衣料や裁断くずから再生されたポリエステルを使用することで、農家の健康保護や環境負荷の軽減、資源の再利用への貢献を目指しています。

2. バイオディーゼル燃料での発電
ミストシャワーの電力の一部を、バイオディーゼル燃料(以下BDF)で発電しています。BDFの原料となる植物は、成長過程で光合成を通じて大気中のCO2を吸収しているため、燃焼しても大気中に新たなCO2を増やさない『カーボンニュートラル』と考えられています。

“世界一クリーンなフェス”を目指す『フジロック』

『フジロック』は「自然と音楽の共生」を掲げ、世界一クリーンなフェスを目指しています。開催場所となる貴重な森に対し、毎年イベントで派生する環境負荷の軽減を試みると共に、以下のような森の“未来”に向けた環境保全に取り組んでいます。

1. フジロックの森プロジェクト

森づくりによる環境保全を目的として、植樹や森と親しむエリアの整備などを行っています。また、地元の間伐材を活用した紙製品『フジロックペーパー』を製造し、売り上げの一部を間伐材の搬出経費に還元しています。

2. ごみゼロナビゲーション

環境保護を目的としたボランティア活動で、参加者にごみの分別方法を案内しリサイクルを推進しています。清掃活動やリユース食器の利用促進も積極的に行い、フェスティバルを持続可能なものにすることを目指しています。

持続可能性を多角的に考える時代

再生可能エネルギーの使用やリサイクル推進など、SDGsの意識が高まり、参加者や主催者の間で環境への関心がより深まっています。このような環境への配慮や社会的責任を重視したサステナブルな取り組みは、あたりまえのものとなり、私たち一人ひとりが物事、ひいては未来を選択する際の大きな基準となります。

私たちシェルグループもサステナブルな取り組みを企業活動として推進し、持続可能な社会の実現を目指していきます。



11月開催-ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPOへの出展決定！！

シェルグループが6年ぶりにビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPOへ出展します！

今回の展示会では、シェル商事が提供するサービス『トコジラぬ』をご紹介します。『トコジラぬ』は、創業から60年以上『環境・都市衛生』の専門家として活動してきたシェル商事(株)が運営するトコジラミに特化した予防・駆除のトータルサービスです。長年培ってきた知識と技術により、点の視点ではなく、面で捉え、最適なサポートをワンストップで提供しています。その他、建物の衛生管理業務全般のご案内も可能です。ビルなどの衛生管理についてご相談がある方も、ぜひ弊社ブースへお立ち寄りください！

出展に向けて

ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPOは、国内最大級のビルメンテナン分野に特化した展示会です。清掃や衛生に関する資機材が一堂に展示されるため、ビルメン業界の関係者にとって、新製品のチェックや比較、導入に非常に有効な場となっています。シェルグループは、今回の出展を通じて、現場で培ったノウハウを活かしたサービスや商材をより多くの方々にお届けすると同時に、予防、早期発見へのシフトの加速を進めていきたいと考えています。

ブースの見どころ

トコジラミは主に宿泊施設での被害が多く報告されています。今回のブースでは、ベッドを設置するなど実際の現場を再現し、自社製品のトコジラミ予防商材や、スチーム機器を用いた加熱駆除処理のデモンストレーションを実際に体感して頂けます。

宿泊業界を騒がせる
トコジラミの被害状況と
今からできる対策がわかる！

「トコジラぬ」ための ノウハウ



シェル商事が提供する『トコジラぬ』3つの強み

1. 専門知識と技術

社内研修、海外視察などにより、最新の情報を携えた経験豊富なスタッフの駆除技術に加え、e-learningシステムや予防商品など各種ツールでお客様の様々なニーズに対応します。

2. 予防と駆除の総合サポート

宿泊施設に従事する方の知識を上げるe-learning、早期発見を目的とした各種予防ツールなどを活用し、被害拡大リスクを抑え、万が一持ち込まれてしまった場合も、速やかで効果的な駆除作業を提供します。

3. アフターサポート

安全な状態でお引き渡しを行い、再発防止のために、予防ツールの導入計画支援や、駆除施工体制の構築などのトータルサービスをご提案します。

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
箕面公園昆虫館館長



ギンモンカギバの幼虫

(銀紋鉤羽)

チョウ目カギバガ

学名: Callidrepana patrana

カギバガの幼虫は鳥の糞や枯葉に擬態するものが多いが、その中でも特に“よくできている”のがこのギンモンカギバの幼虫だと思う。木の実を好んで食べる鳥の糞を真似ており、体表の凹凸は未消化の種に見える。さらに表面がてかてかしているように見えるが、白いスジ模様をつけて“デカリ”を強調している。(写真は食樹のヌルデの葉上で静止する終齢幼虫)

Information

●最新リリース情報

8thCALがトコジラミに関する実態調査を実施しました！

→ <https://ur0.jp/OqDwY>

シェルグループの新サービス「トコジラぬ」をリリースしました！

→ <https://ur0.jp/vd5EN>

●Pick up 展示会・セミナー情報

害蟲展 season5 (※8thCAL主催)

【東京】MATERIO base ※終了

【大阪】箕面公園昆虫館 ※終了

【福岡】九州大学総合研究博物館 ※開催中

会期：2024年9月28日(土)～10月8日(木)



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

